



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集人 池田 紀生
年刊600円 送料共

出始めた期手回答

秋の闘いも早や期末一時金回答が出始める段階を迎えた。
すでに東京計器三十五万円、山武計器三十三万二千円、精工不二家三十七万四千円など、二舎二十三万六千円、日立二十万五千円以上の回答はララ。

中には電機関係企業に見られるように、輸出向けテレビのダンピングと国内カラーテレビ不買運動による不振を理由に、回答(それも低額)の半分を社内預金にするなど出され、そのため電機労連でストにはいった組合もある。

会社は災害責任とれ

一一・九三池労組、全山24スト

三川鉱山で九日大爆発からちょうど七年を迎えた労働者団体の一一・九三池労組は、全組合員は三池労組の指令(十一月六日付)にもとづき①CO患者・犠牲者遺族の諸要求の獲得、②保安確保要求を指標に、新たな怒りをこめて全山二十四時間ストライキをうち、そして三井鉱山の災害責任を追及し、抗議した。
同指令は、さらに次のように「したにもかかわらず、四十二年の合理化強行によるものであり、責任追及とCO患者・遺族述べている。」「三十八年十一月九日九月二十八日の坑内火災をばじ反省なく、責任をまったく感じない不遜な態度である。」「九日の三川鉱山爆発時、今後、多くの事故のため多数の労働者が犠牲となり、殺されている。」「いまここに爆発七周年を迎え、度と事故は起こさないと確約、このことは会社の生産第一主義に当たり、闘いをさらに強化し、責任追及とCO患者・遺族の完全補償、ならびに職場における日常の保安確保を闘いとするために、全山二十四時間ストライキに突入せよ」

地方選候補「きままる」

公害なき市政の確立へ

中央委

大牟田市議候補

蓮尾信次郎 公認、現
湯村 誠男 推せん、現
月足 康則 推せん、現

荒尾市議候補

益田 武則 公認、現
坂本 敏男 推せん、現
田代 政則 推せん、現
浦浜 真光 推せん、現
福川 次郎 推せん、現
吉田 和夫 推せん、現
(荒尾地評会長)

高田町議候補

坂口 義澄 公認、現
以上敬称略
現県議で再出馬する浦川中さんの公認は、すでにさきの中央委員会決定していることを付記しておく。

なお当日の中央委員会は右の統一地方選挙のほかに、十七日から開催される炭労大会対策、公害対策市民会議への態度などを決定した。

早くも

活動を開始

公害対策市民会議

去月二十七日、かねて準備中だった公害対策大牟田市民会議がついに結成された。
市民会議は結成後まだ日が浅い

のにもかかわらず、すでに公害発生地域住民の検診、公害学校開講、街頭写真展などの諸活動を開始している。

市民会議はまた公害反対署名運動もすすめる計画であるが、すでに行なった住民検診に際しては、とくに富山県のイタイイタイ病源を追及した人として著名な萩野隆師を招き検診ばかりでなく講演会も開いて敬愛につとめたが、その影響は大きかった。大牟田の公害闘争は、やがてこの市民会議の活動を中心にもりあがっていくに相違ない。

なお同市民会議の先頭を立てて活動する主な役員は次の通り。
会長 宮崎 小市
(元朝日論説委員)
副会長 原田 照義
(早米ヶ浦漁協組合長)
事務局 橋口 祐之
(大地評事務局)

大企業中心の

政治をやめよ

全国消費者大会で

【KNA】「消費者の団結で物価上げをやめさせよ」などのスローガンをかけ、日本生協連や総評など二十団体が参加して十一月十一日、十二日、東京で第九回全国消費者大会が開かれた。

高橋でひきつづき会社の不当を

荒岡さん、見ごと勝訴

第2審で不当解雇はね返す

三池闘争中の行動を口実に、二十八人の組合員に対して強行した三井鉱山の不当解雇をはね返す裁判(身分保障仮処分請求)は、第一審で三人(甲斐弘さん、浜田義光さん、船盛順二さん)について勝利したあと、第二審(福岡高裁)でひきつづき会社の不当を追及しながら闘っていたが、去る二日判決が出され、その結果また一人荒岡勇さん(三川指導部所属で緑ガ丘住宅町居住)について勝訴した。
荒岡さんに関しては、この仮処分と同時に刑事裁判によってすでに有罪(執行猶余、最高裁判決)が確定しており、仮処分裁判の第一審でも敗訴していたのが、こんど第二審判決で三池労組の主張が通って、「事実誤認」となったのである。荒岡さんは、やがて職場復帰が実現する。

三井鉱山によれば荒岡さんは、三池闘争前期の三十五年三月二十八日、暴力化した第三組合の就労隊が、当時三池労組が固めていた三川鉱東門のピケットラインになぐりかかっていたことが原因となつて発生した事件の中で、無抵抗の経営者、職員、新労組員に暴力を働き、建物や施設を破壊し、会社業務を阻害した、という事になり、不当解雇を受けたものだった。

これはまったくさかさまな論理といふはかないが、それでも第一審では会社主張が認められて「解雇は当然」となったのだから、こんど第二審でそれがくつがえったわけである。

お礼

全金属日本タングステン支部

「先日CO患者キャラバン隊の方からCO患者の記録映画を見せて頂きました。その映画を見た代議員の一人が、代議員手当はCO患者へカンパを」と申し出てまいりました。わすかですがご査収下さい」との、書記の中村光三さんの便りが添えられていました。また、三井地域のCO記念盆会、でもカンパが集まり、カンパを頂きました。心からお礼申し上げます。

新年文芸募集

組合員・家族、それに全国のCOを守る会員の皆さん、本紙へ新年文芸をご投稿下さい。みんなの創作で、素晴らしい「みいけ」の新年号をつくりましょう。
締め切り 来たる12月21日
賞 寄せられた全作
者、心ばかり
短歌 一人三首まで。選

の記念品を準備しています。
種目と要領は次の通り。
小説・コント 四千文字内外まで。
詩 一人三首まで。選は「三池文学」の詩人・内田博さん。
その他 写真やマンガなど。それぞれ主題は、新しい年をめざして闘う三池労働者にふさわしいものを。
「みいけ」編集部